

## 15. 主な経営財務分析表

項 目			算 式	単位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
総収益対総費用比率			$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}}$	%	103.1	99.6	99.9
医業収益対医業費用比率			$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{医 業 費 用}}$	"	90.8	88.7	87.1
病 床 利 用 率			$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年 延 病 床 数}}$	"	81.4	82.0	82.6
患 者 数	1日平均 患者数	入 院	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{診 療 日 数}}$	人	315.9	316.5	318.7
		外 来	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{診 療 日 数}}$	"	760.7	761.3	754.8
	外来入院患者比率		$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}}$	%	161.6	160.8	157.9
収 益	患者1人 1日当り 診療収益	入 院	$\frac{\text{入 院 収 益}}{\text{年延入院患者数}}$	円	43,366.7	42,951.4	41,186.1
		外 来	$\frac{\text{外 来 収 益}}{\text{年延外来患者数}}$	"	10,680.8	10,411.8	10,364.1
	薬 品 使用効率	投薬薬品	$\frac{\text{投薬収入+薬価外}}{\text{投 薬 薬 品 費}}$	%	113.9	110.3	131.6
		注射薬品	$\frac{\text{注射収入+薬価外}}{\text{注 射 薬 品 費}}$	"	105.5	105.0	111.8
費 用	対 医 業 収 益 比	給 与 費	$\frac{\text{給 与 費}}{\text{医 業 収 益}}$	"	64.0	66.3	67.6
		材 料 費	$\frac{\text{材 料 費}}{\text{医 業 収 益}}$	"	21.1	20.8	21.5
		う ち 薬 品 費	$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{医 業 収 益}}$	"	10.5	9.8	10.3
	患者1人1日当り 薬 品 費		$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{年延入院外来患者数}}$	円	2,520.4	2,340.5	2,400.2
	患者1人1日当り 給 食 材 料 費		$\frac{\text{給 食 材 料 費}}{\text{年延入院患者数}}$	"	554.6	541.7	519.9

## 16. 院内の会議・委員会一覧

平成30.4.1現在

項目	会 議 ・ 委 員 会 名	委 員 長	事 務 局	開催頻度	目 的	備考
総括	管理運営会議	石山副院長	課長補佐(運営企画担当)	毎月1回	病院運営に係る重要事項の審議決定	1
	管理者連絡会	院長	副院長(兼)事務局長	毎日	病院運営状況の把握、検討	2
	企画会議	院長	課長補佐(運営企画担当)	毎月1回	病院運営に係る諸課題の検討	3
	衛生委員会	院長	庶務係長	毎月1回	職員の健康保持、職場環境の整備	4
診療運営	医長・診療科長会議	板垣副院長	医事主査	毎月1回	診療運営に関する連絡調整と審議	5
	患者の声委員会	加藤副院長(看)	医療福祉相談主査	毎週1回	患者の声への対応検討	6
医療安全	医療安全管理対策委員会	石山副院長	医療安全担当	毎月1回	医療安全体制確立のための調査審議	7
	医療事故調査会	石山副院長	医療安全担当	随時	事故原因の調査、対応策の検討	8
	院内感染予防対策委員会	岸教育研修部副部長	医療安全担当	毎月1回	院内感染の予防対策の協議、検討	9
	医療事故防止対策委員会	針生医療安全部長	医療安全担当	週1回	医療安全防止対策の検討、研究、立案	10
薬事	管理運営会議薬事部会	院長	薬剤部	1回/4月	薬事に関する決定	11
	薬事委員会	蘇副院長	薬剤部	1回/4月	薬事に関する審議	12
機材	医療機器等器械備品購入委員会	石山副院長	施設用度係長	年1回	医療機器の購入に関する審議	13
	診療材料選定審査会	椎名診療機材部長	施設用度係長	1回/2月	診療材料の選定	14
	医療機器等機種選定審査会	石山副院長	施設用度係長	随時	高額機械等の購入時の機種を審査選定	15
	器械備品等指名業者選定審査会	院長	施設用度係長	随時	機器備品等の指名業者選定に関する審議	16
倫理	倫理委員会	蘇副院長	医療経営主幹	随時	診療に関する倫理問題の審議	17
	治験審査委員会	菊地放射線部副部長	薬剤部	随時	治験実施の妥当性の審議調査	18
	診療情報提供委員会	中原医学資料部長	医事主査・情報企画主査	随時	診療情報提供の適否の審査	19
部	外来業務改善検討委員会	石山副院長	医事係	随時	外来運営についての課題検討	20
	手術部会	神宮手術部長	看護部(手術室)	随時	手術部の運営に関する事項の審議	21
	集中治療室運営委員会	佐藤集中治療室長	看護部(ICU)	随時	ICUの運営に関する事項の審議	22
	透析機器安全管理委員会	宮本透析室長	透析室	1回/4月	透析液の水質管理等に関する事項の審議	23
	栄養管理委員会	安達第二診療部長	主任管理栄養士	随時	栄養管理室の運営に関する事項の審議	24
	検査部運営委員会	松本検査部長	検査部技師長	随時	検査部の運営に関する事項の審議	25
	輸血委員会	椎名診療機材部長	検査部技師長	随時	輸血に関する諸問題の調整	26
	放射線部運営委員会	奥山放射線部副部長	放射線部技師長	年1回以上	放射線部の運営に関する事項の審議	27
	放射線安全委員会	板垣副院長	放射線部技師長	年1回以上	放射線障害防止の企画審議	28
	リハビリテーション室運営委員会	蘇副院長	リハビリ室技師長	随時	リハビリテーション室の運営に関する事項の審議	29
	診療録管理委員会	中原医学資料部長	医事係・情報企画主査	随時	カルテ様式、保管及び病歴管理の検討	30
	地域医療部会	石山副院長	医療福祉相談主査	随時	地域医療部の運営に関する事項の審議	31
	救急災害医療検討委員会	長瀬救急部長	課長補佐(病院整備担当)	随時	救急医療に係る諸問題の検討	32
	医療情報部会	板垣副院長	情報企画主査	随時	医療情報部会の運営に関する事項の審議	33
	臨床研修病院群研修管理委員会	院長	臨床研修係長	随時	臨床研修病院群全体の研修の管理運営	34
	医師臨床研修運営委員会	本間教育研修部長	臨床研修係長	随時	医師臨床研修の円滑な実施に向けた調整	35
がん対策	がん診療対策委員会	板垣副院長	医事主査	随時	がん診療対策の整備	36
	がん登録部会	板垣副院長	医事係	随時	がん診療の向上	37
	がん化学療法部会	石山副院長	薬剤部	随時	がん化学療法の推進	38
	緩和ケアチーム部会	長瀬救急部長	がん支援看護師	随時	緩和医療の推進	39
DPC	D P C 委員会	石山副院長	医事係	随時	D P C 運用の検討	40
課題別	B S C 委員会	石山副院長	経営主査	随時	B S C の評価・点検	41
	保険診療・再審査請求検討委員会	松本検査部長	医事係	月1回	保険診療請求、再審査請求に関する審議	42
	医療情報システム管理委員会	板垣副院長	情報企画主査	随時	医療情報システムの運用・管理	43
	クリニカルパス委員会	石山副院長	医事係	随時	クリニカルパスの導入拡大の検討	44
	N S T ・褥瘡対策委員会	安達第二診療部長	栄養管理専門員	随時	褥瘡患者・低栄養患者治療等の効率的推進	45
	医師研究調査事業運営企画委員会	加藤医局長	総務主査	随時	調査事業の運営企画	46
	研修委員会	堀内教育研修部副部長	医事主査	随時	院内研究発表会の開催	47
	広報委員会	武藤第一診療部副部長	課長補佐(運営企画担当)	随時	広報誌の発行、HPの管理運営	48
	図書委員会	岡田手術部副部長	庶務係	随時	図書室の運営	49
	病院機能評価受審対策委員会	石山副院長	課長補佐(運営企画担当)	随時	病院機能評価受審	50
	病棟再編検討委員会	板垣副院長	課長補佐(運営企画担当)	随時	各病棟への診療科の配置	51
	第6病棟運営会議	篠村手術部副部長	課長補佐(運営企画担当) 第6病棟部長	随時	第6病棟の利用率向上	52
	新庄病院健康まつり実行委員会	仁木診療機材部副部長	課長補佐(運営企画担当)	随時	病院まつりの企画運営	53
	新庄病院改築整備に係る院内検討会	石山副院長	課長補佐(病院整備担当)	随時	改築整備に向けた検討	54
	専門・認定看護師研究調査事業運営企画委員会	本間教育研修部長	総務主査	随時	調査事業の運営企画	55
	V字回復プロジェクトチーム会議	山口副院長(事)	経営主査	月1回	V字回復プロジェクトの進捗管理・検討	56
	糖尿病透析予防チーム会議	堀内教育研修部副部長	糖尿病看護認定看護師	年3回	糖尿病、透析予防	57
	感染制御チームラウンド会議	岸教育研修部副部長	医療安全担当	週1回	院内感染の予防	58
	コンフリクト・マネジメント委員会	石山副院長	医療安全担当	月1回	患者や家族からの相談、クレーム等への対応協議	59

看護部内の委員会等を除く。



## 職 員 行 動 指 針

1. 信頼され、選ばれる病院となるため、一人一人が研鑽に努めよう。
2. 医療の安全確保に、最大の努力をしよう。
3. 常に、患者さんの立場に立って行動しよう。
4. 地域とともに歩む病院を目指し、地域をよく知ることからはじめよう。
5. 「やれない」のではなく、「どうしたらやれるか」を考えよう。
6. チームの一員としての自覚をもって行動しよう。
7. 安定した医療を提供し続けるため、経営健全化目標を達成しよう。

「仁」、「愛」、「和」の心をもって...